

# 研究・教育・社会活動報告



網谷 祐一 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究活動

著書

- 2022年6月 *Species Problems and Beyond*, edited by John Wilkins, Frank Zachos, and Igor Pavlinov, CRC Press (Contributed a chapter "Is Species Problem That Important?," pp. 39-64). ISBN: 103222147X

研究論文

- 2023年7月 "Finding Value-Ladenness in Evolutionary Psychology: Examining Nelson's Arguments," *History and Philosophy of the Life Sciences*, 45: 36. DOI: 10.1007/s40656-023-00590-7 [査読あり]
- 2022年9月 "Do New Evolutionary Studies of Consciousness Face Similar Methodological Problems As Evolutionary Studies of Mind?" *Annals of the Japan Association for Philosophy of Science*, 31, pp. 31-53. [査読あり]

研究発表 (主なもの)

- 2023年11月 "When Interest-based Explanations Succeed," *Philosophy of Science Around the World*, Online
- 2023年6月 「社会的要因からの説明の諸相」、科学基礎論学会、東海大学、平塚。
- 2022年8月 「行動進化論はメタファーで夢を見るか」、生物学基礎論研究会、オンライン。
- 2022年6月 「科学に社会的・文化的バイアスを見つけること」、科学基礎論学会、オンライン。 [審査あり]
- 2022年5月 "Finding Value-Ladenness in Science: The Case of Evolutionary Psychology," Tokyo Forum for Analytic Philosophy, University of Tokyo, Tokyo, Japan. [招待講演]

競争的資金獲得

- 科学研究費補助金 基盤研究(C) 「アップデートされた「心の進化研究」の方法論的検討」(課題番号: 21K00036)、2021年4月-2024年3月、総額130万円(研究代表者)。

## 2. 教育活動

会津大学における担当授業 (2023年度)

- アカデミックスキル1・2
- 哲学(日・英)
- 科学史
- 課外プロジェクト(「AI・ロボットと倫理」)

## 3. 社会活動

一般向け講演

- 2022年9月 「論文指導I」、みらいづ探究ラボ、會津稽古堂。
- 2022年7月 「研究とはなにか、どういう意味があるか」、みらいづ探究ラボ、會津稽古堂。

学外委員

- 日本科学哲学会(理事[理事会担当理事]、学会誌編集委員)、科学基礎論学会(評議員、企画広報委員[2023年3月まで])、『科学哲学科学史研究』誌(編集委員)

池本 淳一 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究

著作等出版物 なし

共同研究

- ・2022.5～2024.3 「空き家対策の推進」(喜多方市・都市整備課との共同研究)

その他

- ・池本淳一、2023、「生涯スポーツの「入り口」としての学生武術」、日本武術太極拳連盟『武術太極拳』、No.402、2023年8月、pp.18-19.

制作物・企画・イベントなど

- ・池本淳一、2022.7.2、「東北サファリパーク どうぶつ大接近!!」ほか計5作品(二本松をテーマにしたVR作品)、第52回福島ブロック大会 in 二本松 地域益増進発展事業『Experience Technology～福島の未来のために～』(2022年7月2日開催) 出展、公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会・福島の未来創造委員会様より奨学寄附金を授与。
- ・池本淳一、2023.3.18-27、「デジタル未来のモノづくり～3Dモデルをつくろう!～」 「浮き出る物体! 疑似ホログラム体験」、デジタル未来アート展(2023.3.18-27、会津若松市・稽古堂)、株式会社ルート49様(デジタル未来アート事業実行委員会からの事業受託者)より奨学寄附金を授与。
- ・池本淳一、2023.11.12、「大塚山古墳」(MDF製組み立て模型)、(2023.11.12、福島県立博物館・考古学講座「会津大塚山古墳をつくろう」にて使用)。
- ・池本淳一、2023.3.16-24、「デジタル未来のモノづくり2～3Dモデリング～」 「デジタル未来のモノづくり2～電子工作のふしぎ発見～」 「疑似ホログラム2」 「ゲームで遊んで郷土を知ろう!」、デジタル未来アート展(2023.3.16-24、会津若松市・稽古堂)、株式会社ルート49様(デジタル未来アート事業実行委員会からの事業受託者)より奨学寄附金を授与。

## 2. 教育・運営・FD活動

担当授業 アカデミックスキル1・2 社会学 地域社会学 Sociology (集中講義)

2020～2022年度前・後期 課外プロジェクト「社会調査とICTによる地域サポートプロジェクト」

2023年度前・後期 課外プロジェクト「地域イベントと観光サポートプロジェクト」

2020年度前期 課外プロジェクト「人生100年時代」に向けた健康的なカラダづくり

サークル顧問 カンフーサークル

## 3. 社会貢献など

外部委員 ・2019.4～2023.3 会津美里町教育委員会点検及び評価における有識者会議委員

・2020.10～2024.3 会津喜多方商工会議所 事業推進アドバイザー

・2022.2.19～2023.2.19 喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会委員

・2023.6.18～2025.6.17 喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会委員

・2023.6.16～2025 (終了時まで) 公益財団法人会津若松文化振興財団 理事

学会関係 ・2019.6.1～2022.5 日中社会学会 大会担当理事

・2019.9～2022.5 関西社会学会編集委員会専門委員

蛭名 正司 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究活動 (著作・出版, 学会発表など)

### 【論文】

- ・蛭名正司 割合の非加法性の理解を促進する教授法の検討—ICT を活用した割合の数対生成・参照活動に注目して— 会津大学文化研究センター研究年報, 29, 77-90. (2023.3)
- ・蛭名正司・沖和砂 2022年度会津大学新入生の生活と意識に関する調査 会津大学文化研究センター研究年報, 29, 5-25. (2023.3)
- ・沖和砂・蛭名正司 2022年度会津大学生の生活と意識に関する調査 会津大学文化研究センター研究年報, 29, 27-75. (2023.3)

### 【学会発表】

- ・蛭名正司 割合の問題解決に及ぼす直観的推論の影響 日本教授学習心理学会第19回年会予稿集(2023.6)
- ・蛭名正司 割合の非加法性に関する理解調査—中学1年生を対象として— 日本教授学習心理学会第18回年会予稿集 (2022.6)

### 【研究助成等】

- ・福島県学術教育振興財団助成対象事業“高大連携による AOJ を用いたプログラミング学習環境の構築” 研究分担者 (代表: 渡部有隆) (2023.4-2024.3)
- ・会津大学競争的研究費“Learning support project using “Tsumazuki Share Board” 研究代表者 (2022.4-2023.3)

## 2. 教育活動

教育心理学, 教育方法, 教育課程論, 数学科教育法1, 数学科教育法4, 情報機器の活用に関する理論と方法, 教職実践演習, 教育実習1, 教育実習2, 教育実習事前事後指導, アカデミックスキル1, アカデミックスキル2, 卒業研究, 課外プロジェクト「教師になろう！」

## 3. 学内運営 (委員会など)

学生支援委員会 (2022年4月—)

## 4. 社会活動

### 【委員等】

- ・会津若松市教育委員会点検及び評価における有識者会議委員(2018-)
- ・会津若松市通学区域検討委員会委員(2022.5)
- ・会津若松市立一箕中学校学校運営協議会委員(2020-)

### 【その他】

日本教授学習心理学会編集委員会事務局 (2019-) 理事 (2023-)

小川 千里 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究 (主要なもの)

(招待講演)

・ OGAWA, O.C., (2022). 'Lifelong Education for Professionals in Japan- Case Studies on Elite Athletes and School Teachers', The Teaching and Education Summit (TESUMMIT), Learning and Education, November 9-11, Proud Pen & Acavent (Online).

・ OGAWA, O.C., (2022). 'A Solution-focused Team Meeting Method with Business Facilitation: from Japanese Educational Settings', the 5<sup>th</sup> Edition of the International Academic Conference on Teaching, Learning and Education, October 21-23, Athens, Greece (Online).

(書籍)

・ OGAWA, O.C. (Forthcoming). 'Characteristics of Coaches' Behaviour Towards a Japanese University Athlete Displaying Psychosomatic Movement Disorders: A Longitudinal Case Study in Elite Sports Education', Graciu, N. (Ed), *Reflection on Higher Education: Challenges and Achievements*, Proud Pen: London.

(学術論文)

・ OGAWA, O.C. & YAMADA, M., (2023). 'Impact of Facilitation Skills Training for School Administrators in Japan: Using the Solution-Focused Team Meeting Method in Educational Counseling Collaborations', Paper presented at the 16th Annual International Conference of Education, Research and Innovation, November 13-15, Sevilla, Spain, pp.40-47.

(学会発表)

・ OGAWA, O.C. & UCHINO, H. (2023). 'Impacts on Collaborations in Educational Counseling by Utilizing the Solution-Focused Team Meeting Method: A Case Study from the Managerial Perspective', Poster presented at the 44th Annual Conference of the International School Psychology Association, July 5-8, 2023, Bologna, Italy.

・ 小川千里・煙山千尋 (2023) .「スポーツ才能教育における虐待の様相とアスリートの依存四類型—指導者適性の理解に向けて—」, 第42回日本心理臨床学会, 2023年9月1-3日, 9月22-10月12日。

・ 小川千里・丹藤美津子・内野博之・笠井敬祐・木嶋葉子・山田まり子・荻間澤勇人 (2023) .「公認心理師時代の教育カウンセリング—公認心理師の資格を持つ教育カウンセラーの役割—」, 第20回日本教育カウンセリング学会自主シンポジウム, 2023年10月28-29日。

(競争的資金の獲得)

・ 2021-2024年度 科研費 (基盤C)「スポーツ虐待防止のための指導者の依存性への介入の方略」(代表)(受賞)サイエンティスト・プラクティショナー賞, 日本教育カウンセリング学会, 2022年7月10日。

## 2. 教育

(担当授業) ビジネス・コミュニケーション (2023) 経営戦略論 (2023), ベンチャービジネス論 (2023) キャリア教育 (2023), 心理学 (2022), アカデミックスキル1 (2023), 2 (2022-2023)

## 3. 社会貢献 (主要なもの)

(外部委員等) Reviewer of Journal of Counseling Psychology, Reviewer of the 33<sup>rd</sup> International Congress of Psychology, A member of the Conference Committees of the National Career Development Association 2023, 日本教育カウンセリング学会査読委員, 会津美里町教育委員会点検及び評価における有識者会議委員, (研修等) 会津大学公開講座 (アイズ・キャリア、福島医療専門学校)、福島県中小企業家同友会会津支部, 日本ブラジル鍼灸協会、大間町役場 (実務経験) オリビア心理カウンセリング研究所代表、IKEA Kobe Store Logistics

沖 和砂 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究 ※代表的な研究のみ記載

(学会発表)

- ・ 沖和砂. コロナ禍における体育実技の意義の検討, 日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会, 体育心理, 2023.9.1 (ポスター発表).
- ・ 沖和砂. 高校部活動実施者の体組成測定による発育発達状況の把握一部活動間での比較, 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会, 発育発達, 2023.9.1 (ポスター発表).

(学術論文)

- ・ 蛭名正司・沖和砂. 2022年度会津大学新入生の生活と意識に関する調査, 会津大学文化研究センター研究年報 (29), 5-25, 2022. (2023.3 発行)
- ・ 沖和砂・蛭名正司. 2022年度会津大学生の生活と意識に関する調査, 会津大学文化研究センター研究年報 (29), 27-74, 2022. (2023.3 発行)

(書籍)

- ・ 水野基樹 監修・編著, 「リーダーシップ理論の新機軸—スポーツ組織への展開—」  
コラムを3編担当, (現在印刷中).

(競争的研究費)

- ・ The 2022 University of Aizu Competitive Research Funding “An Exploratory Study of Risk Factors Inducing Sports Injury in Disabled Alpine Skiers” (研究代表者)
- ・ The 2023 University of Aizu Competitive Research Funding “Development of Basic Guidelines for Safe Lift Access for Disabled Skiers” (研究代表者)

## 2. 教育・運営・FD活動

(担当授業)

- ・ 健康・スポーツ科学実習1 (3クラス)、2 (3クラス)
- ・ 生涯スポーツ科学実習 (スキー) ・ 保健学
- ・ 卒業研究 アカデミックスキル1、2 ・ SCCP (A unique sport in Aizu)

(学内委員会)

- ・ ハラスメント防止/対策委員会 (ハラスメント相談員) ・ 衛生委員会
- ・ カフェリモデルプロジェクト ・ 学生支援WG ・ 創立30周年プロジェクトチーム
- ・ 教職員のための運動プログラム講師

## 3. 社会貢献

(外部委員)

- ・ 福島県スキー連盟 (総務本部長/副理事長)、国民体育大会福島県選手団女性コーチ
- ・ 福島県スポーツ指導者協議会 (理事・講師) ・ (公財) 福島県スポーツ協会 各事業 (講師)
- ・ 勿来工業高等学校ラグビー部メンタルサポーター  
※勿来工業高等学校は2022年度7人制、15人制ラグビー全国大会出場
- ・ 人類働態学会 (事務局長・理事)
- ・ 日本体育・スポーツ・健康学会 (応用研究部会・スポーツ文化研究部会員) 体育心理分野より選出 (講演活動)

※県内外各所において講演活動を実施

苅間澤 勇人 (2022年4月～2024年3月)

## 1 研究活動 (著作・出版, 論文, 学会発表)

- ・苅間澤勇人(2023). 課題集中高校でグループアプローチを教育に生かす 日本教育評価研究会編 指導と評価 第69巻4月号(通巻821号), pp. 35-38, (一社)日本図書文化協会
- ・苅間澤勇人(2023). 「Q-U」の活用から広がる教育実践と信頼関係 日本教育評価研究会編 指導と評価 第69巻10月号(通巻827号), pp. 32-35, (一社)日本図書文化協会
- ・苅間澤勇人(2024). 教師こそ, ワーク・ライフ・インテグレーションを目指そう 日本教育評価研究会編 指導と評価 第70巻2月号(通巻830号), pp. 31-33, (一社)日本図書文化協会
- ・苅間澤勇人・小林朋子・川俣智路・磯村元信・神崎真実・藤江玲子(2023). 新型コロナ禍において困難を抱える高校生への心理教育的援助の現状と課題—支援が限られる高校や課題集中高校に注目して— 教育心理学年報, 62, pp. 271-279
- ・小川千里・丹藤美津子・内野博之・木嶋葉子・山田まり子・苅間澤勇人 (2023). 公認心理師時代の教育カウンセリング—公認心理師の資格を持つ教育カウンセラーの役割— 2023年日本教育カウンセリング学会第20回研究発表大会発表論文集, pp. 22-27

## 2 教育活動

- ・教育入門    ・教師入門    ・生徒指導・教育相談    ・情報と職業    ・教育実習事前事後指導
- ・教育実1・2    ・情報機器の活用に関する理論と方法    ・教職実践演習    ・アカデミックスキル1・2

## 3 社会活動

### (1) 会津大学公開講座

#### ○教員派遣公開講座

- ・福島県教育センター    ・喜多方市立教育委員会
- ・棚倉町教育委員会    ・会津坂下町教育委員会
- ・矢祭町立矢祭小学校    ・矢祭町立矢祭中学校
- ・白河市教育委員会    ・白河市立釜子小学校
- ・会津美里町立高田小学校

### (2) 研究成果の還元 (研修会)

- ・岩手県 一戸町教育委員会    ・岩手県 洋野町教育委員会
- ・山形県教育センター    ・山形市教育委員会
- ・盛岡市立城東中学校    ・一関市立桜町中学校

### (3) 委員等

- ・会津若松市教育委員会 学力向上委員会 (委員長) (2016年度から)
- ・白河市いじめ対策連携協力会議 (委員) (2018年度から)
- ・その他

### (4) 学会活動

- ・日本教育心理学会 社員    ・日本教育カウンセリング学会 常任理事
- ・日本教材学会 常任理事    ・日本学級経営心理学会 常任理事
- ・日本特別活動学会 理事



小暮 克夫 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究

(学術論文)

- Kogure, Katsuo and Satoru Shimokawa, "Civil War and Insect Food Culture in Cambodia," unpublished manuscript, University of Aizu, March 2024. (査読無)
- Kogure, Katsuo and Yoshito Takasaki, "COVID-19 and Crime in Space and Time: A Multi-Scalar Causal Analysis in Sao Paulo State, Brazil," unpublished manuscript, University of Aizu, March 2024. (査読無)
- Kogure, Katsuo and Kiyoyasu Tanaka, "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Infancy, Childhood, and Adolescence," unpublished manuscript, University of Aizu, December 2023. (査読無)
- Kogure, Katsuo and Masahiro Kubo, "Cambodian Refugees," HIAS Discussion Paper E-125, Hitotsubashi University, November 2022. (査読無)

(講演・口頭発表等)

- Kogure, Katsuo "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Infancy, Childhood, and Adolescence," Australian Meeting of the Econometric Society, University of New South Wales, Sydney, Australia, August 9, 2023. (査読有)
- Kogure, Katsuo "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Infancy, Childhood, and Adolescence," Asian Meeting of the Econometric Society, Nanyang Technological University, Singapore, July 28, 2023. (査読有)
- Kogure, Katsuo "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Infancy, Childhood, and Adolescence," Hitotsubashi Summer Institute (HSI) 2023, Hitotsubashi University, June 10, 2023. (査読無)
- Kogure, Katsuo "Long-Term Impacts of Extreme Deprivation in Early Childhood and Adolescence," Workshop on Empirical Moral Science, Shikoku University, March 6, 2023. (査読無)

(競争的研究費)

- 2023-26年度 科研費(基盤研究(B)). 「カンボジアにおける昆虫養殖を活用した貧困削減と未来型食品生産の両立の可能性」(研究分担者)
- 2020-24年度 科研費(基盤研究(C)). 「紛争と経済発展に関する実証研究」(研究代表者)
- 2018-23年度 科研費(挑戦的研究(開拓)). 「空間データと開発プログラム評価の統合」(研究分担者)
- 2018-23年度 科研費(国際共同研究強化(B)). 「熱帯雨林の保全と開発に関する学際共同研究」(研究分担者)

## 2. 教育・運営

(担当授業) 経済学(日本語), 経済学(英語), 経済発展論, アカデミックスキル1・2

(学内委員会) 教育の内部質保証ワーキンググループ

## 3. 社会貢献

(外部委員)

- 一橋大学経済研究所(非常勤研究員)(2021-23年度), 国際協力機構(JICA)(アドバイザー)(2022-23年度), 会津若松地方広域市町村圏整備組合情報公開等審査会委員(委員)(2020-23年度)

中澤 謙 (2022年4月～2024年3月)

## 1. 研究

(競争的研究費)

- ・ 2021-2023年度 科学研究費(基盤研究C) 保育者としての成長過程に沿ったVR-Learning教材の開発(研究代表者)
- ・ 2023-2025年度 科学研究費(基盤研究C) 体育教師の自覚的な課題解決方略を高めるシステムの開発(研究分担者)

(研究発表)

- ・ 中澤 謙, 久田 泰広, 渡部 琢哉, 西原 康行 (2023.3) VRを用いて代替可能な保育観察力形成要素の検討. 日本教育工学会 春季全国大会, 59-60 (口頭)
- ・ 中澤 謙, 久田 泰広, 渡部 琢哉, 西原 康行 (2023.9) VRによる保育観察時の視線の特徴. 日本教育工学会 秋季全国大会, (ポスター)
- ・ 渡邊 千春, 西原 康行, 中澤 謙 (2023.9) 日本における医療電話相談の現状と課題. 日本教育工学会 秋季全国大会, (ポスター)

(学会運営)

- ・ 日本教育工学会 2023年 春季全国大会(第42回大会) 一般研究発表1 教師教育(1) 座長
- ・ 日本教育工学会 2023年 研究会(オンライン) 一般研究発表1 午後の部1 B会場 座長

(研究報告書)

- ・ 中澤 謙, 久田 泰広, 渡部 琢也, 西原 康行 (2023) 同時多発的に子どもが入れ替わる状況下における学生と教師の視線方略. 日本教育工学会研究報告集 2023(3) 107-112

## 2. 教育・学内運営

(教育)

「健康スポーツ科学科目」健康・スポーツ科学実習1 (C2, C3, C5),  
健康・スポーツ科学実習2 (C1, C3, C5), 生涯スポーツ科学実習(水泳)

「人文社会科学科目」 アカデミックスキル1、アカデミックスキル2, 保健学

「卒業論文」

「課外プロジェクト」 Human Body Motion Analysis Project

(学内運営)

- ・ 情報センター運営委員会/情報センター運用管理業務委託ワーキンググループ /カリキュラムワーキンググループ, 他.

## 3. 社会貢献

(学外委員会等)

- ・ 福島県スポーツ振興基金(理事) / (公財)日本水泳連盟学生委員(北部支部長), 東北地区大学体育連盟(評議員) / 福島県スポーツ医・科学委員会(委員) / 会津若松市公園緑地協会運営委員会(委員)

(大会運営)

- ・ 北部地区大学選手権水泳競技大会 (鯉ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール・主催)
- ・ 第70回全国国公立大学選手権水泳競技大会 (ダイエープロビスフェニックスプール・上訴審判)
- ・ 第99回全日本学生選手権水泳競技大会 (東京アクアティクスセンター・上訴審判)

## 執筆者一覧（五十音順）

網谷 祐一	(A)	会津大学上級准教授（哲学・科学史）
池本 淳一	(A)	会津大学上級准教授（社会学）
蛭名 正司	(A)	会津大学上級准教授（教育心理学）
小川 千里	(P)(A)	会津大学上級准教授（経営学）
沖 和砂	(A)	会津大学准教授（スポーツ健康科学）
荻間澤 勇人	(PF)(A)	会津大学教授（教育学）
煙山 千尋	(P)	岐阜聖徳学園大学准教授（スポーツ心理学）
小暮 克夫	(A)	会津大学上級准教授（経済学）
中澤 謙	(A)	会津大学教授（保健学）

※ (PF)巻頭言 (P)論文 (A)活動報告

会津大学文化研究センター研究年報 第30号 2023

2024年 3月 31日 発行

発行 会津大学

郵便番号 965-8580

福島県会津若松市一箕町鶴賀

Fax 0242(37)2751

編集 会津大学文化研究センター

